

# 秋の保育衛生

東京市兒童掛長  
醫學博士 廣 瀨 興

秋は天高く馬肥ゆると云はるゝ時です。吾々も最も發育旺盛、健康の増進する時です。一時、酷暑のため、新陳代謝機能の衰えた時、涼風と共に、漸次、常態に復し、食慾も一層促進し、殊に小兒は發育も急速の増進を示すのが普通です。従つて、却つて過食、食當りのための消化不良症や、腸カタル、赤痢の多い期節です。朝夕の涼氣のため感胃に罹るものがあります。デフテリアの流行するときです。吾々はこの季節を利用して積極的に幼兒の健康増進をはかつて見たいものです。

登園の時、園兒の顔色に注意して、元氣のないもの、青白いもの、潮紅を呈してゐるものは、舌を出さして見るのも便法です。病氣があれば、必ず舌苔があつたり、やゝ腫脹したり、口臭があつたりして、普段と異つて滑らかではありません。こんなときは、只、額に手を當てゝ看るばかり

でなく、檢温器をあて正確に、熱を測つて見ねばなりません。保姆は舌壓子（又はコーヒースプーン）で幼兒の咽喉の検査が出来る様に常々練習して置くことが肝要です。癩疹なれば、兩頬の内面に粟粒大の周圍に紅曇のある黄斑が十數個つゞ密生してゐます。（コプリツク氏斑と云ふ）これは未だ固有の發熱、紅斑等の現れない中の早期診斷に役立つものです。咽喉の兩側に扁桃腺が單に赤く腫れて居れば扁桃腺肥大か、炎症の始めですが、若し、その表面に黄色の苔が附着してゐればデフテリアの疑ひがありますから、直ぐ醫師に相談せねばなりません。

園兒全體に、デフテリア豫防注射（フォルモワクチン）して置けば安心です。危険のない確實の豫防法ですから。赤痢疫痢の豫防内服薬（ピリワクチン）は未だ完全とまで行きませんが、デフテリアの方は豫防ワクチンも治療ワッ

チンも殆んど理想的のものです。是非、家庭にすゝめたいものです。

秋は果物や木の實の多い時ですから、幼児の胃腸は特に注意が肝心です。便所に行く幼児は、よく氣をつけて早く腸カタル、赤痢を發見せねばなりません。喰べたものがよく判つてゐて、例へば、ブドー、豆、粟、芋などの喰過ぎなれば、早くヒマン油十五瓦の頓用を家庭にすゝめることです。早く不良の腸内容を排除する手段をとるべきです。そして後はしばらく絶食せしめる位に空腹にして置く方がよろしい。

夏からの薄着や、冷水摩擦の習慣は家庭と連絡をとつて續ける様にしたい。併し四才以下の幼児は冷水より乾布摩擦がよろしい。これも特に早朝でなくとも、入浴後でも効果的である。ラジオ體操の後なども大に結構です。

日光浴と肝油飲用もこの頃から始めるとよろしい。虚弱兒や腺病質兒に肝油を毎日コーヒースプーン一杯か二杯與へるのは好いことですが仲々、家庭では出來ない、併し幼稚園では容易に出来る。中食後や、おやつの後水に浮べ

て、大勢一度に飲めば、割合幼児は嫌がらぬものです。

日光浴は風のあたらぬ日當りよいところで、上着をぬがせて直射日光の下に遊ばせればよい。帽子をかぶること、水をよくのませしておくこと、必ず風のないところといふ條件が大切です。そんな無風の所がなければ、又冬の眞中ともなれば、室内で「セロツアン」紙の窓を通して日光浴をするのがよい（この方法は次號に委しく述べます）この秋の頃より皮膚を成るべく日光にさらす習慣をつけておくことを心掛けませう。急に冬になつて、あわてゝ試みては必ず失敗いたします。

肝油と日光浴の前に體重測定しておきますと數日で急速の體重増加するのが判ります。

夜尿症の兒はそろ／＼秋口から、甚しくなりますが日光浴と肝油で治るものもあります。飲料を制限する方法は以前より行はれてゐますが、却つて反對に飲みたいだけ飲ませて夜尿した時刻を記録しておくのです。斯くすること約四五日で夜尿の時刻が大體何時であるかと正確に判る兒があります、その時はその後當分の間その時刻の少し前に醒

覺させて放尿させる習慣をつけると、遂には放尿が治ります。これは膀胱が充滿に堪える習慣がつくのです。私はこの方法によつてある低脳兒收容所で殆んど夜尿兒を無くした例を知つてゐます。一度は試むべき方法ですが、母親の餘程の努力が入ります。

山や林間の遠足の季節です。ウルシの葉にかぶれたり、毒虫に刺れたりします。東京の郊外、井頭公園に雨降りあがり散策して、マラリヤに罹つた兒がありました。臺灣とかピワ湖の近くによく流行する有名の沼地もありますが、東京の郊外では稀しいことです。間歇的に高熱が出てその中間は全く無熱で症状がないのです。マラリヤ病原體を保有してゐる蚊に刺されると罹病するのです。キニーネを適當の時刻（丁度、人體内で病原體が繁殖分列する時）に服用すると治ります。

毒虫に刺れたら、直ぐなれば薄いアンモニア水塗布。なければ、オゾ、メンソレタンをよくすり込んでよい。近頃沃度丁幾の代用で、しかもカブレたり刺戟したりしない消毒藥マイクロクロームも効果がある。ウルシカブレはよ

く便通をつけて、脂肪分の少い食事をとり、患部に、五％グリテール亜鉛萃オリーブ油を塗り、胃腸藥を内服せしめるのです。

田舎の秋は楽しい茸狩りで賑ひます。松茸、初茸、しめじなどいろ／＼食べて美味のものがありますが、又極めて猛毒のものもあります。よく、知られたものゝ他食べては危険です。山遊びの折、子供に採らせるのも注意すべきです。「ツキヨタケ」「ハイトリタケ」「ベニタケ」など毒々しい色のものは皆な有毒です。誤食して中毒するもの多いことは毎秋、随分多數の統計が示してゐます。嘔氣、嘔吐、流涎、發汗、腹痛、下痢、遂ひには眩暈、胸内苦悶、脈膊遲徐、瞳孔縮少甚しいときは痙攣、昏睡、時には酩酊状態、躁暴状態を呈し、死に至ることさへあるのです。

秋の自然は吾々にとつて、心地よい晴々とした誠に活動的な生活、健康増進的な季節です。又一面、それだけいろ／＼の陷阱が待ちかまへてゐます。注意して、來るべき消極的の冬の生活に打勝つ充分の貯へをいたしませう。